

20~30代の若い女性
に多い病気です

『女性に多い甲状腺の病気』

甲状腺とは、のどぼとけの下にある蝶のような形をした臓器で、甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺ホルモンは多すぎたり少なすぎたりしないようバランスが保たれていますが、甲状腺の働きに異常があらわれると、そのバランスが崩れてしまいます。甲状腺の病気は、若い女性にとっても多い病気です。月経異常や不妊、流産の原因になることもあるため、注意したい病気の一つです。

甲状腺ホルモン

〔 新陳代謝を活発にしたり、交換神経や心臓などの活動を高めたり、汗や脈拍を調節する機能があります。 〕



甲状腺ホルモンの分泌が多すぎても少なすぎても病気を引き起こします！

バセドウ病

(甲状腺ホルモンの過剰分泌)

<発症しやすい年代> 20歳代~30歳代

多い

新陳代謝が過剰になる病気を甲状腺機能亢進症といい、代表的な病気として、甲状腺を刺激する自己抗体ができることで甲状腺ホルモンが過剰につくられる「バセドウ病」があります。

このような症状には注意...

- 動悸、息切れ
- 疲れやすい
- 暑がり、たくさん汗をかく
- 体重減少
- 手足の震え
- 集中力低下、イライラする
- 首、喉元あたりの腫れ

チェック
してみよう！

健診結果の数値も気にしよう！

血液検査で「血中コレステロール」値が低すぎる、「心電図」で心房細動という不整脈がきっかけで見つかることも。

橋本病

(甲状腺ホルモンの分泌不足)

<発症しやすい年代> 30歳代~40歳代

少ない

新陳代謝が低下する病気を甲状腺機能低下症といい、代表的な病気として、甲状腺を障害する自己抗体ができることで甲状腺ホルモンが分泌が減る「橋本病」があります。

このような症状には注意...

- 全身のむくみ
- しわがれ声(かすれ声)
- 寒がり、冷えの悪化
- 無気力、疲れやすい
- 体重の増進
- 目の下あたりの腫れ
- 月経異常(月経過多)

こんな症状、
最近あるかも...

健診結果の数値も気にしよう！

血液検査で「血中コレステロール」値が高く、「肝機能」異常を認めます。

● 他の病気と間違われやすい！

体調不良、更年期障害の症状と似ているので我慢してしまうことや、無気力・疲れやすい等、うつ症状と間違われるケースもあります。症状が長引く場合や、上記の症状がいくつか当てはまる場合は、かかりつけ医に相談、または甲状腺の専門医を受診しましょう。

● ストレスをためない！

甲状腺の病気は、自己免疫疾患でいろんな要因が重なり合って発症するといわれています。ストレスなど、環境的要因で発症するケースもあるため、ストレスをためない生活を心がけましょう。

● 定期健診は必ず毎年受ける！

小さな変化を見逃さないためにも、定期健診は必ず毎年受けましょう。健診結果は、総合判定だけではなく数値まで気かけ、基準値内だからといって安心せず、過去の結果と比較して毎年チェックするようにしてみましょう。